

2019年7月10日

電通、「People Driven DMP®」と LiveRamp の相互データ連携による オンライン/オフライン統合データソリューションの提供を開始

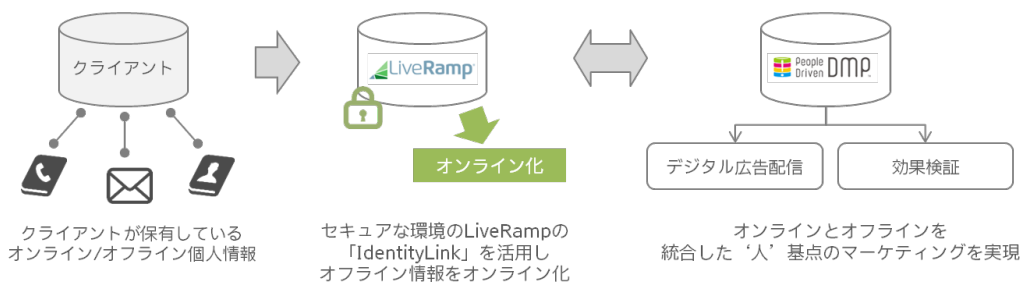
株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）とLiveRamp Japan株式会社（所在地：東京都千代田区、アジア・パシフィック統括取締役：フレデリック・ジョウブ、以下「LiveRamp社※1」）は、電通グループの強みである“人”基点のマーケティングプラットフォーム「People Driven DMP®※2」と、LiveRamp社が提供するサービスを相互データ連携させていくことで合意しました。

これにより、クライアント企業が保有するオフラインも含む顧客データと、外部の多様なオンラインデータの連携が容易になるため、統合データソリューションによる効果的かつ効率的なマーケティング施策が実現できるようになります。

本データ連携による統合データソリューションには2つの特徴があります。

① 高い安全性を担保しながら、オフラインデータをオンライン化。

データ・セキュリティやプライバシー保護において高い安全性を担保しているLiveRamp社の「IdentityLink」（アイデンティティリンク）と呼ばれる技術を活用します。これはクライアント企業が保有する各種顧客データを、オンラインの識別子に変換（オンライン化）して活用することを可能にする技術（オンボード※3）です。この技術により、クライアント企業は自社保有の顧客データを、電通グループが保有するテレビ視聴ログや意識データ等と紐づけができるようになり、その結果、オンライン/オフラインのデータ統合による高度なデジタル広告配信や効果検証を含む多様なマーケティング施策が実現できるようになります。



② より広いパートナーのデータを活用し、精度の高い分析が可能に。

電通グループの「People Driven DMP®」と LiveRamp 社が提供するデータマーケットプレイスである「Data Store」（データストア）の連携を実現しました。これにより、「People Driven DMP®」を導入する企業は、「Data Store」に参画するパートナーのデータを活用し、より精度の高い顧客分析や戦略策定、広告配信などが行えるようになります。

今後も当社は、「People Driven DMP」の強化に資するアライアンスやデータ統合を通じ、当社グループならではの“人”基点のマーケティングの高度化を推進していきます。

※1 : LiveRamp

ブランドとそのパートナーに真のオムニチャネル・マーケティング基盤と、デジタル・エコシステムにわたって統合された Identity Resolution (ID データ検証/照合) を提供する世界有数の企業。

URL : <https://liveramp.co.jp/>

※2 : People Driven DMP

これは、PC やスマートフォン由来のオーディエンスデータと、テレビの視聴ログデータ (STADIA)、ウェブ広告接触データ、OOH 広告接触データ、ラジオ聴取ログ、パネルデータ、購買データ、位置情報データなどを人 (People) 基点で活用することができる「People Driven Marketing」のデータ基盤です。この基盤の更なる強化のために、People Driven パートナーシッププログラムを構築し、「メディア/コンテンツ」「デジタルプラットフォーム」「EC・購買」「パネル/メジャメント」「位置情報」などの各種パートナーと、データやテクノロジーの連携によるビジネス・アライアンスを推進しています。

※3 : オンボード

クライアント企業が保有するオフラインの顧客データをデジタル化し、オンラインで接続できるようにすることを、海外では「Onboard」(オンボード) 機能と呼び、オフラインとオンラインをつなぐソリューションとして注目を浴びています。

以 上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報局 広報部

山口、小嶋

TEL : 03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 データ・テクノロジーセンター

濱口、猪飼、山崎

TEL : 03-6216-8526